

令和7年度全建賞 推 薦 調 書
インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)

実施機関名(主事業の実施機関名)	栃木県 日光土木事務所
ふ り が な	こうようのめいしょにつこういろはざかにおけるじゅうたいたいさく ～ちゅうしゃじょうへいさによるし ゃかいじっけん～
1. 事業(施策)の名称	紅葉の名所日光いろは坂における渋滞対策 ～駐車場閉鎖による社会実験～
2. 事業(施策)実施期間(和暦)	令和7年9月22日 ～ 令和7年11月16日
災害枠で推薦の場合	(災害発生日) 年 月 日 (災害名)
3. 事業費(工事費)	9百万円
4. キーワード	日光、社会実験、いろは坂、紅葉、観光地、渋滞、渋滞緩和、情報発信、 YouTube、SNS、ライブカメラ、臨時駐車場
5. 事業概要	日光市では行楽シーズンに著しい交通渋滞が発生し、来訪者満足度の低下や市民生活に影響を及ぼす要因となっ ている。 これまでも関係機関と連携し渋滞対策を実施しており、令和7年度の秋は従来の取り組みに加え、渋滞の起点であ る明智平県営駐車場を試験的に閉鎖する社会実験を実施した。

6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」		
ハード or ソフトの分類 :該当する方に○印	② ハード面 に秀でた事業	② ソフト面 に秀でた取組
アピールする 1)「手段」	() () () ()	(f)社会実験(県営駐車場の臨時閉鎖)、臨 時駐車場の開設 (b)行政と企業との共働 (c)情報発信(ホームページ、SNS(X)、ポ スター、YouTube の活用)
アピールする 2)「秀でた成果」	() () ()	(a)目的地までの時間短縮効果 (f)交通渋滞の緩和 ()

7. 特にアピールしたい点
これまでは迂回誘導や駐車場案内、渋滞情報発信、オフピーク観光の推奨等のソフト対策を実施してきたが、過年 度の取り組みでは、抜本的な解決に至っておらず、思い切った取り組みが必要になると考え、今回は社会実験に踏み 切った。実施にあたり、日光市や関係機関である東武グループ、地元観光業との合意形成を図ったほか、観光客や地 元住民の混乱を最小限にするため、SNS での発信及びマスメディアを活用して広く周知した。

8. 事業を代表する写真及びキャプション

いろは坂の著しい渋滞状況



令和5年11月:撮影

社会実験(いろは坂 明智平県営駐車場)のライブ発信



令和7年11月:撮影

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕

行楽シーズンの日光地域では、大きく分けて「二社一寺を起点に発生する渋滞」と「いろは坂を起点に発生する渋滞」の2つの渋滞が発生する。

二社一寺は、マイカー等で来る観光客が多く、周辺の駐車場の容量不足から渋滞が引き起こされていた。行楽シーズンには、日光市が無料臨時駐車場を開設しており、県日光土木事務所や国土交通省日光砂防事務所の駐車場を開放することで、混雑路線から交通量の分散を図っている。また、県では以前から、日光宇都宮道路インターチェンジから臨時駐車場までの迂回誘導や専用 HP・SNS によるリアルタイム渋滞状況発信、混雑路線のライブ配信、オフピーク観光の推奨等、ソフト対策にも取り組んでいる。

国道120号「第2いろは坂(上り)」も、毎年、秋の行楽シーズンには著しい交通渋滞が発生しており、従来から有効な対策が求められてきた。そのため、令和元(2018)年には、対面通行だった第2いろは坂の明智平～中宮祠間を、上り専用一方通行化する社会実験を実施し、渋滞緩和の効果が確認され地元との協議が整ったため、一方通行を恒常化した。一方通行化以降も渋滞のピーク時には、路線バスがJR日光駅～中禅寺温泉間を通過するにあたり、通常45分に対し最大5時間半かかっており、渋滞が地域交通に深刻な影響を与えていた。

このため、令和7(2025)年度の秋は新たな取り組みとして、過年度の取り組み結果から渋滞の先頭と推測された明智平県営駐車場を試験的に閉鎖する社会実験を実施した。

図-1 渋滞対策概要図



9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P I の方法 等)〕

【社会実験 いろは坂 明智平県営駐車場における閉鎖】(栃木県・新規)

一般国道 120 号は、日光市山内を起点とし、いろは坂、中禅寺湖、金精道路を經由して、群馬県沼田市へ至る幹線道路である。その中でも奥日光地域は、令和 2 年度にいろは坂が選奨土木遺産に認定されるなど、市民生活はもとより観光においてもますます重要なエリアとなっている。

いろは坂の渋滞は、道路の両側に明智平県営駐車場と民間のロープウェイ駐車場があり、それぞれの入庫待ちの車が 2 車線を同時にふさぐことで起きており、秋の紅葉シーズンにおいては地域観光業に大きな影響を与えている。

令和 7 年度は、いろは坂を起点とした渋滞を緩和させるため、社会実験として、明智平県営駐車場を閉鎖し、左車線が車の入庫待ちで塞がることを抑制した。

実施期間:令和 7 年 11 月 1 日(土)～令和 7 年 11 月 3 日(月)の 3 日間



図-2 対策前の状況



図-3 県営駐車場閉鎖時の状況

【社会実験 路面標示の設置】(栃木県・新規)

日光市街から中禅寺湖へ上っていく第二いろは坂では、明智平方面に行く車両と中禅寺湖・沼田方面に行く車両が互いに車線変更を行うことで、後続の車が減速することによる渋滞が起きていた。

そのため、上り 2 車線を明智平方面に行く車線か中禅寺・沼田方面に行く車線かをわかりやすく路面標示をすることで、急な車線変更によって起きる渋滞の減少を図った。



設置前



設置後

左 図-4 路面標示設置前

右 図-5 路面標示設置後

右車線 明智平方面

左車線 中禅寺湖・沼田方面

【社会実験 道路情報板による周知】(栃木県・新規)

過年度は明智平県営駐車場を運用してきたことから、県営駐車場閉鎖による混乱を防止するため、日光市内にある国道 119 号、国道 120 号及び、日光宇都宮道路の道路情報板により県営駐車場閉鎖を周知した。

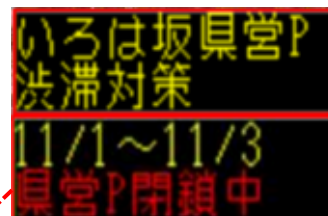
道路情報板表示期間

10 月 14 日～10 月 31 日:閉鎖予定

11 月 1 日～11 月 3 日:閉鎖中

図-6 いろは坂県営駐車場閉鎖を周知する道路情報板

左 国道 120 号 右 日光宇都宮道路



9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、PIの方法 等)〕

【各種情報発信】（日光市、栃木県、県道路公社・継続）

日光地域交通対策検討会（構成員：日光市、栃木県、県道路公社、警察、東武鉄道）を開催し、渋滞に関する情報の発信方法を検討した。栃木県では、表-1 のとおり、各種情報発信媒体で情報の提供を実施した。

情報発信期間

令和 7 年9月 22 日(月)～令和 7 年 11 月 16 日(日)

図-7 渋滞情報 HP



図-9

SNS(X)による情報発信



表-1 情報発信内容

情報発信媒体	内容	図の番号
①Internet	栃木県の日光渋滞サイトから渋滞情報を確認できる媒体をPR	図-7
	県営駐車場の満空情報を民間事業者のウェブページから発信	
②YouTube	ウェブカメラを設置し、リアルタイム渋滞情報を発信	図-8
③SNS(X,LINE,Instagram)	公式アカウントから渋滞情報を発信	図-9
④ポスター	高速道路のサービスエリアとパーキングエリアにポスターを設置	

図-8 YouTube でライブ配信される
明智平駐車場前の混雑状況



【事業成果】

本取り組みは、秋の行楽シーズンにおける「二社一寺を起点に発生する渋滞」と「いろは坂を起点に発生する渋滞」を緩和し、日光を訪れる観光客に満足していただくために取り組んだものである。

渋滞緩和のための社会実験を含む各種取り組みを実施したことで、「いろは坂を起点に発生する渋滞」は、交通量が最大となった令和 7 年 11 月 2 日(日)と昨年令和 6 年 11 月 3 日(日)を比較すると、バスが第 2 いろは坂の通過にかかった時間が、午前中には平均で 100 分以上が短縮され、一定の効果が確認されたが、午後には激しい渋滞が発生した。

本取り組みにより、渋滞対策として一定の効果を確認することができたが、一部の時間帯では例年通りの渋滞状況となってしまった。日光を訪れる観光客に満足していただくとともに、市民生活への影響を緩和するために、今後も関係機関と連携を取りながら渋滞対策に努めていく考えである。

表-2 馬返～中禅寺温泉バス停間の通過時間比較

交通量最大日 午前中平均	R6(2024)年	R7(2025)年
バスの通過に要した時間	11/3 (日)	11/2 (日)
馬返～中禅寺温泉 (通常約25分)	168分	59分
交通量最大日	R6(2024)年	R7(2025)年
日光宇都宮道路	11/3 (日)	11/2 (日)
交通量	59,706台/日	52,719台/日
第2いろは坂	11/3 (日)	11/2 (日)
交通量	9,055台/日	8,290台/日

図-10 馬返～中禅寺温泉バス停 ルート図

